



発行所 磐城日日新聞社
福島県磐城市潜堀51
電話代表3-87番
編集兼比佐不二夫

火を点じた青年層

泉町にあがった大井川出馬策

大井川正巳氏の出馬断念とそれを巡って活発な動きをみせて来た志賀、立花両候補の巻に拾った選挙予報を気懸るに本社記者陣が泉、渡邊、江名、小名浜、鹿島の幸地帯にわたり展開して見ることになった

大井川はとうとう名浜が主役だろう。あと動きには一寸頼母しい会... 断念した大井川はとうとう涙を流した。御仁がかなりあるが、N: 彼を是非かつかうとしたのは泉、渡邊の青年層だと云うが、本社がつかんだ情報はどうか...

大井川はとうとう名浜が主役だろう。あと動きには一寸頼母しい会... 断念した大井川はとうとう涙を流した。御仁がかなりあるが、N: 彼を是非かつかうとしたのは泉、渡邊の青年層だと云うが、本社がつかんだ情報はどうか...

本 社 側
本 報 記 者
植 田 支 局 記 者
湯 本 支 局 記 者
記 録 者



常磐の椅子へ
湯本後援会は動く

年層の心理をよく掴むと云うのだ。M: これからの政治家は青年の歩みと行動を共にしなければ伸びない... 湯本後援会は動く

網 領
紙面を廣く讀者の論説に開放し、社会の意志を擁護する。一旦掲載した問題に關しては如何なる反論をも拒まず、これを尊重する。
磐城日日新聞社

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

H: 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか... 湯本は無理だろうと心配していた。M: 彼がどう出るか...

緑化運動を推進
植田町営林署
署長 百瀬美佐雄
副署長 小林一男
平 營 林 署
署長 勅使河原美則
平 營 林 署
入遠野村長 平 子 太 間
田 人 村 長 逸 見 万 吉
川 部 村 長 木 長 治

平マーケット サービス券
50円 (有効期限)
現金30円以上御買上に50円として通用
皆様の店 平マーケット 電297

白鳥選手
28日羽田出発
来る五月一日マニラ市に於いて開くオーストラリアオリンピック大会に暗の日本代表として参加する白鳥博美選手(勿来町酒井)は十三日平を出発した。二十八日午前九時羽田から空路マニラに行く予定

絶対に着服ではない！ 問題の人



小野幸市議の取調本格化 いや明に横領だ！

名浜出張所長、現市議小野幸次郎氏(三八)の任意出頭を求め、事情聴取を行い、本格的な取調べにあたり、この事件発生以来同氏が社会黨人として入会して、警城市市民クラブから、議員としての資格なしと指摘され除名問題として責任の追求から、背任横領の疑で告訴された、同下町十八番地西武住宅相互株式会社小野田会長に提出、一應は

日本水素斗争宣言 —早へもスト投票—

日本水素小名浜工場労働組合(組合長長坂倉祐氏)組合員一、六二七名は十四日午前九時から同社講堂に於て第五回組合大会を開き、社側に対し斗争宣言をし、十五

伝説を巡って① 錦町渡辺生

都を遠く幾山河草深き陸奥の地、其の名もト遠野に流罪となつた若き公卿飛鳥井中納言は、風の朝雨の夕べ、はるかかなる都の空に想いをはせて、やもなき煩悶の年月を送つて居た。

本年度大学受験合格者名 次のとおり

- ▽福島大学経済学部 長谷川福治
- ▽明治大学工学部 永山善次郎
- ▽神奈川大学法学部 藤原貞夫

米泥頻繁

けさ二俣盗る
警城市船引場四三内船主柳内無人さん(三二)

警城市西町商榮会誕生 業者間の親睦計り役員選定

新生警城市の誕生と共に、警城市の振興は急務とされ、その具体策として、警城市西町商榮会が誕生し、役員選定が行われた。

合格者発表

公立小名浜高校定時制の合格者は、以下の通り発表された。

春の花、秋の日、夏の涼風、冬雪と四季折々の御宴の詠歌は、その度度一ききわ秀れた和歌を讀み、或は舞臺に朗詠し、或は披き出しぬものとして何の公卿は幾度か帝に彼の帝のえい感から直に謝罪の言が下された。

交通旬間は じまる

春季全国交通安全旬間は、十五日より十日間、警城市でも実施される。

緑の募金市 割當七萬圓

緑の週間にちなんで警城市では、緑の募金市が開催される。

これからの美容

昨日まで第一回の美容法の締めくくりとして、本日は、いろ／＼な化粧法と題して化粧の仕方順序などにつき話を進めたいと思ひます。

魚菜市況 15

(小名浜中央魚菜市場)
卵九一、一ねぎ三〇、五〇、八じん三〇、一〇、一〇、一九〇、ごぼう一四、五、一六〇、馬鈴薯三〇、八〇、三、四〇、八〇、さといも三〇、七〇、たまご一〇〇、はたまたま一五〇、けし、二五〇、一四〇、ふき、二二〇、から三七、六〇

経費をかけずに良い品安く

旅行シーズン
リックヤツク130円より
学帽120円より6000円
学生服セーラー服各種入荷
ギヤバ、ナイロン学生服
ボストン旅行セット新入荷
ポスター、旅行袋、洋傘、新入荷
春セーター、婦人コート、タイ
ワイシャツ、新柄、メヌナ
化粧品、柳屋メヌナ
ジュエ、毛糸1900円
カネボウ、春毛糸、ちどり

平マーケット

雨もまた旅行に通勤に
網レインコート一四〇〇円
雨靴五〇〇円より各種入荷
洋傘にビニール張り登山帽

同時上映

14日 17日
空前の興味と豪華な配役
續南國大平記
決闘 薩南の嵐
公開された水爆の威力
コロムビアギヤング映画の傑作
恐怖の街

平けいりん

4月
16日 17日 18日
24日 25日 26日
金 土 日
土 日 月
場外車券賣場
福島 郡山 岩松 平
主催 平市

佐藤医院

醫師 佐藤信好
警城市大字泉 電話三三番